

A. S. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

大学に入学する前から「留学したい」という思いがあったため、挑戦しました。留学に行きたいと思ったきっかけは、中学校での英語の授業でした。中学 1 年生のときに受けていた英語の授業で、先生が自身の留学経験を語ってくれたり、「ハイスクールミュージカル」などといった洋画を観たりしたことで海外の文化に興味を持ちました。しかし中学高校共に公立の学校だったため、外国人との交流は全くなく、常に定期テストや受験のために英語を勉強していました。そこで、「海外の学生と共に勉強し、現地で生活してみたい」という思いが芽生え、大学生になったら必ず留学しようという思いでこの大学に入学しました。数ある留学制度の中から協定留学を選んだ理由としては、金銭的にあまり余裕がなかったため、留学先での授業料を全額負担していただけるこの制度を選択しました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

私は IELTS を受験して出願しました。まずは IELTS の無料体験会に行って、テストの内容や自身のレベルを知りました。リスニングがまったくできなかったため、“6 minutes English”というアプリを使って、毎日イギリス英語を聞くようにしていました。また、公式問題集を何度も解いて解き方を知り、テストに慣れるようにしました。Writing については、点を取るための型があるため、解答例を分析して、使える表現方法を暗記することも得点源になったと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

大学の授業に真剣に取り組むことです。AES の上級クラスに入っていたこともあり授業の内容はハイレベルだったので、積極的に発言して自身の英語力、特に Speaking 力の向上に努めていました。

◆ ビザ申請方法

イギリスに半年以内で留学する場合は、事前のビザ申請は必要ありません。現地で飛行機を降りてから入国する際に、パスポートと入学に関する書類を見せれば大丈夫です。

◆ その他

- ・飛行機のチケット予約
- ・ロンドンからリーズまでの高速バスのチケット予約
- ・寮の選択、Deposit の支払い (£200)
- ・ミール券の購入
- ・残高証明書の作成

- ・クレジットカードの作成（デビットカード、個人カード、家族カード、キャッシュパスポート）
- ・寝具をオンライン購入（現地のサイトで、寮に配送してもらうように。私はダブルサイズを購入して、ちょうど良かったです）
- ・保険加入（同女が指定したもの、私はH07 を選択しました）
- ・スマホの SIM カード（giffgaff）を購入して登録
- ・地下鉄の電子決済カード(Oyster Card)を友人から頂きました
- ・コロナワクチンの接種証明書の作成、アプリの登録

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

ヒースロー空港から電車を使って、知り合いのご自宅に泊めてもらうために Brockley という駅まで行きました（1 時間ほど）。4 日間滞在させてもらい、ロンドン観光をしました。その後は電車で Victoria Station まで行き、National Express（高速バス）に乗ってリーズまで行きました。（ロンドンからリーズまではバスで 5 時間）寮は Central Village で、バス停から徒歩 10 分程度の場所でした。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

学部ごとにオリエンテーションが行われ、リーズでの過ごし方や近くにあるスーパーなどの説明がありました。また、日本人留学生のためのオリエンテーションもあり、日本人の教授が履修登録などについて日本語で説明してくださいました。

◆ その他必要な諸手続き方法

現地で口座開設はしていません。

⑤ 語学研修期間

語学研修はありませんでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学の敷地はとても広くて建物も多いので、初回の授業では教室まで行くのに迷うこともありました。寮から教室までは徒歩 5 分程度で近かったので快適でした。外観はどれもおしゃれで、特に図書館がお気に入りだったので、テスト前はよく図書館の自習スペースでレポートを書いていました。大学内にはカフェも沢山あります。

◆ 履修科目について

・ EDUC2080 The Practice of English Language Teaching

この授業では、英語の教師として生徒にどのように文法や発音、単語、4 技能を教えるのかを学びました。講義では宿題として授業法に関する文章を読み、授業の中でそれに関する議論を行います。最終発表として Study Group のメンバーで 25 分間の模擬授業を作成

し、実際に行いました。発表者以外の学生は生徒役になり、フィードバックをしました。多国籍な学生と授業作成から実施まで出来て、とてもいい経験になりました。評価は模擬授業と、それについてまとめた 3000 words のレポートでした。

・ **EDUC2101 International Perspectives of Pedagogy and Practice**

世界の国々の教育制度や、どのような授業が行われているのかを学び、比較する授業です。これも 2 年生対象の授業でしたが、理解に困ることはあまりありませんでした。講義では毎回 1 つの国がピックアップされ、その国の教育制度を文化や経済など様々な視点から学び、議論をします。最終レポートでは 2 つの国を選んで、それらの教育システムやカリキュラムの違いなどをまとめました。(3000 words)

・ **MUSS1824 Film Music: From Text to Interpretation**

これは音楽科の授業で、映画の中に使われている音楽がもたらす効果や、ストーリーと映像との融合性などを学ぶ授業です。映画音楽に興味があったので受講しましたが、元々知識がなかったため理解するのに苦労しました。最終評価では好きな映画を 1 つ取り上げて、その音楽と話の関連性をまとめたレポートを提出しました。(2000 words)

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

半年の留学だったためクラブに所属はしていませんでしたが、**Japanese Society** というサークルで毎週行われる **Library Pub Social** に参加し、日本に興味がある海外の学生と日本人学生とで会話していました。正規でクラブに参加しようとする 1 年分の参加費を払わないといけないので、半年の場合は入る必要はないと思います。

⑧ **現地での住まいについて**

◆ **正規科目履修期間**

Central Village という寮に入りました。他の寮と比べると少し料金が高めですが、24 時間スタッフが 1 階に駐在、住んでいる学生の質が高い、季節ごとのイベントも豊富、スーパーや大学までの距離が近い、などといった理由から、値段が高くても入寮した価値がありました。真隣には **City Side** という寮もあります。5 人部屋で、ルームメイトはイタリア、スペイン、カナダ、オランダ出身で、全員女性でした。部屋は個室で、トイレ、シャワー、セミダブルベッド(枕とシーツと掛布団は無し)、テーブル、椅子、クローゼット、ゴミ箱がついていました。リビングとキッチン、ダイニングテーブルは共有です。共有スペースでごはんを食べる人もいれば自分の個室に持ち込んで食べている人もいました。食事は自炊でした。食堂で食べることもできますが、値段が高めです。(1 食£6~8)

⑨ **長期休暇の過ごし方**

正規授業は 12 月の中旬ですべて終わり、私以外のルームメイトは全員実家に帰ってしまったので、クリスマスの時期には **Japanese Society** で仲良くなった日本人の友達 3 人とヨーロッパ旅行に行きました。フランス、ベルギー、ドイツに行きました。また 1 月中旬にテス

トやレポートがすべて終わり、帰国までの期間でロンドンとイタリアに行きました。格安航空でとても安くヨーロッパを周遊できます。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

オンラインで説明会や 1 day インターンシップに参加していました。他の日本人留学生もスーツを持参してオンラインで参加していました。時差により、イギリス時間の深夜に行われるので昼夜逆転してしまいましたが、なんとか頑張っていました。また、私は教員免許の取得とも両立していたので、同女で参加必須の授業はオンラインで受講し、レポート提出をしていました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

ルームメイトみんなでサンクスギビングパーティーやクリスマス会をしたことです。サンクスギビングでは、自分の国の料理を作って持ち寄りました。食べる前に一人一人が感謝の言葉を言うのですが、全員ルームメイトとの出会いに感謝し、感動して涙を流す子もいるほどでした。クリスマス会で Secret Santa という名のプレゼント交換をしました。あとは夜にお酒を飲んで友達を沢山リビングに呼んで踊ったり、一緒に買い物に行ったり、イタリア人のお誕生日会をしたりと、ルームメイトと沢山の思い出を作りました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

ルームメイトたちがネイティブのように英語を話すので、会話についていくことに必死でした。しかし、私が聞き返したらわかりやすく教えてくれたので、優しいなと感じながらも、自分の英語力のなさに落ち込むこともありました。また、日本を離れることで日本の良さを感じることが増えたので、帰国したいと思うこともありました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

円安もありましたが、物価が高いことに驚きました。外食するのに余裕で 3000 円を超えるので、できるだけ自炊するようにしていました。スーパーで買う食材は安いです。また夜は街中にウィードの匂いがするので、日本の治安の良さを感じました。他国の学生と関わる中で驚いたことは、LGBTQ やビーガンの学生が想像以上に多かったことです。さらにそれを隠そうとせず、個性だと認めて当たり前のように振舞っているのをみて、日本との違いを感じました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、留学生がとても多く、そのサポートが充実していることです。オリエンテーションでは、対面でもオンラインでもしっかりと説明をしてくれます。さらに、日本人の教授が、日本人留学生一人一人に Academic Tutor として履修や授業の相談に乗ってくれるので、とても安心できました。悪かった点は、人数が多すぎてメールの返信がとても遅いこと

です。留学生を担当する課にメールを送信して、返信が 1 週間後というようなこともあったので、急ぎの場合は直接行ったほうがいいと思いました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

- ・スーツケース、ボストン、リュックの 3 つ（ロストバゲージが心配だったため、リュックとボストンは手荷物にしました）（JAL）
- ・パソコン（コードはイギリスの電圧に対応したものを購入）
- ・SIM カード：現地で買うのではなく、日本で注文し、日本出発当日にイギリス用の SIM を挿入しました）
- ・プラグ変換器（変圧器は必要なかった）
- ・スーツケースの重さを量る秤
- ・レンジで炊ける炊飯器（ちびくろちゃん 2 合）：日本食が恋しくなるので、重宝します。アジアンスーパーで日本のお米が売っています。
- ・日本からヒートテックやクリスマスパーティー用のドレスを母親から送ってもらいました。クロネコヤマトの国際便を使い、1 週間ほどで届きました。
- ・免許証：イギリスではお酒や包丁を購入する場合に本人確認が求められます。リーズ大の学生証に生年月日の記載がないため、日本の免許証を携帯しておく必要があります。私は免許証を日本に置いていたので、パスポートを見せていました。
- ・Air Tag：ロストバゲージ対策ですべての鞆に入れていました
- ・小さい栓抜き：お酒はほとんど瓶なので、あると便利です。
- ・日本食（味噌汁、鍋キューブ、コンソメ）：特にコンソメは売られていないので、持っていくことをおすすめします。
- ・Kindle に加入：あらゆる国のガイドブックを読めるので、旅行のとき便利でした。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語を聞き続けることに慣れたため、長時間のリスニングを苦しく感じなくなりました。また留学生と沢山話したことで自分に自信がつき、英語を話すことに自信が持てるようになりました。留学後に TOEIC や英検を受験しましたが、どちらも目標を達成できました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

3 年生の秋学期に留学しようとする、就職活動に支障をきたさないのか、とても心配になると思います。私も「就職活動」「教員免許取得」「留学」の 3 つを両立していたので、不安でした。しかし留学経験は就職活動をする上で必ず役に立ちますし、1 月に帰国しても遅すぎることはありません。現に私は 1 月末に帰国し、2 月に ES を書き始め、3 月のスタートになんとか間に合いました。そして 5 月に第一志望の企業から内定をもらい、6 月の教育実習には余裕を持って参加できました。就活が心配だから留学を諦めようとしているのなら、その心配は全くいりません。自分の行動次第でなんとかなります。協定留学制度を使って留

学できるのは大学生である今しかないなので、是非とも挑戦してほしいと思います。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

来年からは貿易関係の仕事に就く予定なので、海外研修や赴任を通じて「海外で働く」という夢を実現させたいです。また、教育実習を通して教員にも魅力を感じたので、いつか英語科教員として教壇に立ち、生徒に英語だけでなく海外の文化や魅力を教えたいです。

V. 写真



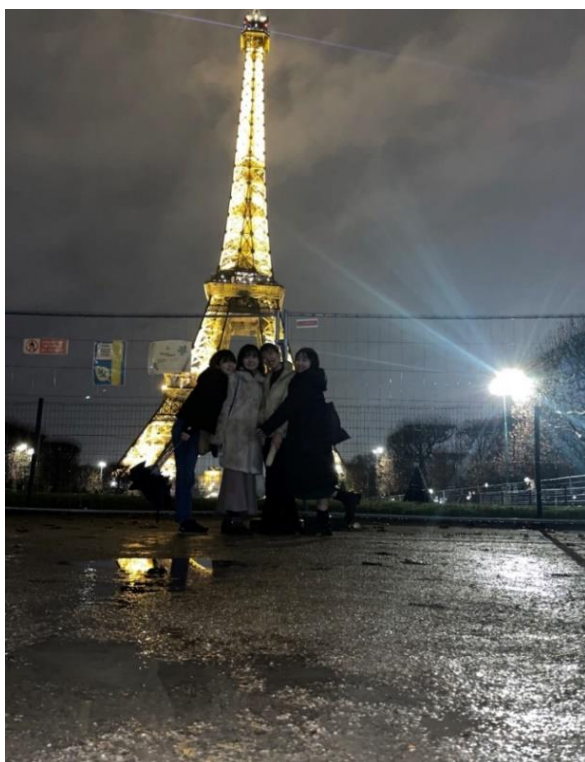
サンクスギビングパーティーでルームメイトと撮った写真です。色々な国の料理が並び、どれもおいしかったです。



Central Village に住んでいる学生のクリスマスパーティーがホテルで行われました。
クリスマスディナーを食べたり、音楽を聴いて踊ったりして楽しみました



クリスマスにルームメイトとしたプレゼント交換です。みんな仲良く和気あいあいとしていました。



クリスマス休暇で行ったフランスでの写真です。ヨーロッパ旅行に安く行けるのも、イギリス留学の魅力の1つだと思います。



イギリスを留学先にした理由の 1 つでもあるハリー・ポッター・ミュージアムに行きました。本場のイギリスでハリーポッターの世界を体験でき、とても楽しかったです。